

3 赤谷の森自然散策の実施

地元群馬県内の一般の方を対象とした環境教育プログラム「赤谷の森自然散策」を春（5月）に小出俣エリアで、また、冬（2月）に旧猿ヶ京小学校及びいきもの村で、赤谷センターの主催により実施しました。



春の散策（ブナの解説）



春の散策（大カツラの前での集合写真）



春の散策（自然再生試験地の説明）

春は新緑を楽しみながら、森林のはたらき・仕組み、植物や動物について、赤谷プロジェクト地域協議会の長浜陽介氏の解説による自然散策を実施しました。参加者は21名でした。

冬は、赤谷の森の冬の顔といえる広葉樹の冬芽について、30種類の冬芽のサンプルを観察しながら、冬芽の同定手法や冬の森林生態について、また、雪上に見られる野生動物のフィールドサイン（足跡、糞等）について学びました。参加者は18名でした。

なお、10月に予定していた秋の散策は、紅葉を楽しみながら、森林や動物、植物について学ぶ予定でしたが、林道の路肩崩壊により残念ながら中止となりました。



冬の散策（冬芽の解説）



冬の散策（動物の足跡観察）

4 放送大学

テレビやラジオで講義を視聴し学習する通信制の放送大学（群馬学習センター、前橋市、矢野由美彦所長）の面接授業「生物多様性保全と国有林管理」が、昨年度から実施されています。

担任教授は放送大学の河合明宣教授で、赤谷プロジェクト地域協議会の理事も勤めています。5月17日（土）及び18日（日）に学生24名を対象に実施され、赤谷センター及び（財）日本自然保護協会が協力しました。

1日目は、沼田市立図書館視聴覚室で、河合教授が「授業の概要と利根川源流の特色」、赤谷センターから「赤谷プロジェクトの内容とその意義」として、赤谷プロジェクトの概要や各WGの具体的な取組み、サポーター活動等について、また、（財）日本自然保護協会から、「生物多様性と新しい時代における地域環境管理」として、赤谷プロジェクトの歴史的背景、枠組みやモデル性について、様々な視点から講義がされました。



赤谷センター所長の講義風景



野外授業での森林土壌と植生の観察

2日目の野外授業では、「赤谷の森」の小出俣エリアで豊かな自然を観察しながら、（社）日本森林技術協会前橋事務所の長島成和氏から、森林土壌と植生の関係や生物多様性について解説がされました。

授業は県外の学生も参加するなど大変好評で、来年度以降も継続していく予定です。また、授業が大変好評のため、今回の授業を初級者向けと位置づけ、上級者向けの授業を平成22年度から開講することを検討しています。

5 環境教育関係の実施

平成21年度の環境教育関係の実績は下表のとおりです。

対 象 者	実施日・参加者数	実施場所
(児童生徒関係)		
新治小学校 5 年生	7 月 22 日 (サマースクール・67名)	高原千葉村
新治小学校 6 年生	10月20日 (事前56名) 10月22日 (遠足56名) 3 月 2 日 (事後56名)	新治小学校 旧三国街道 新治小学校
新治中学校 1 年生	5 月 20 日 (74名)	新治中学校
千葉市立中学校 2 年生	5 月 23 日 (稲毛中17名)	いきもの村
	*千葉森林管理事務所による事前学習 9 月 12 日 (稲毛中16名)	稲毛中学校
千葉市立中学校関係者 (自然教室担当者 講習会)	3 月 16 日 (17校19名)	いきもの村
利根実業高校 農業系 1 年生	6 月 19 日 (20名) 6 月 26 日 (20名) 7 月 3 日 (20名) 9 月 25 日 (20名)	いきもの村
(一般者)		
赤谷の森自然散策	5 月 24 日 (21名) 2 月 14 日 (18名) *なお、10月25日に予定していた自然散策 は、小出俣林道路肩崩壊に伴い中止。	小出俣エリア 旧猿ヶ京小学校・ いきもの村
放送大学 面接授業	5 月 17 日 (24名) 5 月 18 日 (24名)	沼田市立図書館 小出俣エリア
環境教育WG	第 1 回 12月17日 第 2 回 2 月 19 日	日本自然保護協会